

多職種連携協同学習

4つの学校で協同学習
を実施します

新しい出会いを楽しもう



〇〇専門学校の桜

来年は仕事で忙しいかもしれませんが、コロナが落ち着いたら、お花見に来てください

地域で活躍することを期待されている時代です！

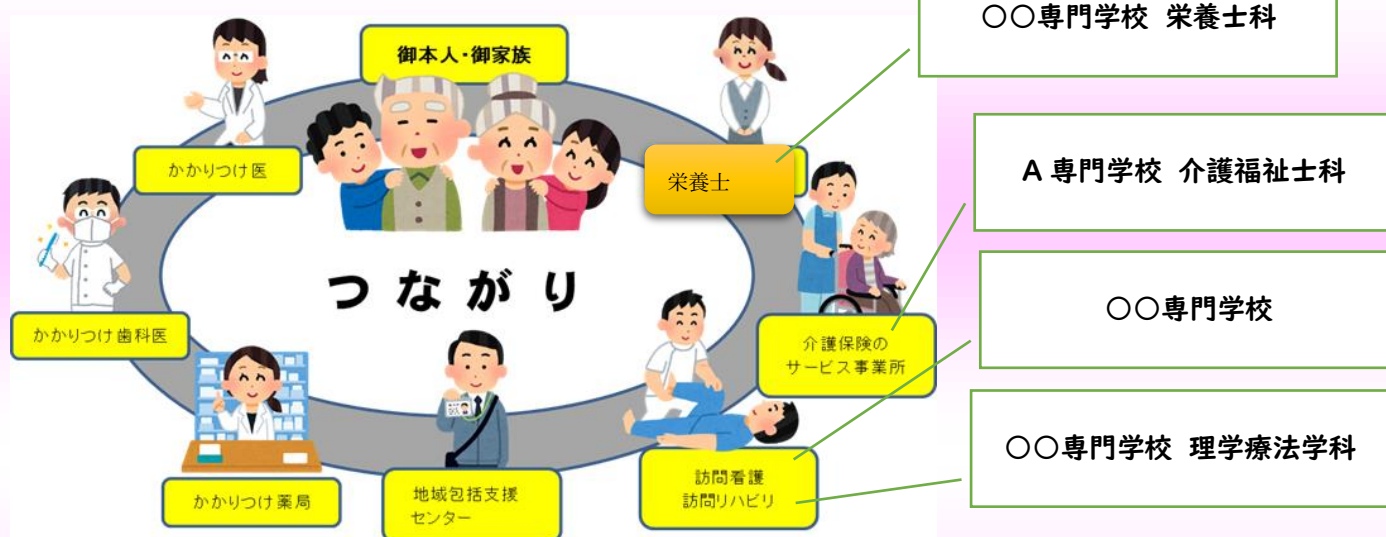
来年、卒業し活躍する
人材となる皆さんへ
多職種連携協同学習の目的



医療は、病院から地域へとシフトチェンジしています、患者さん、利用者さんが地域で暮らす視点が大切！（地域包括ケアシステム）

多職種と連携し、地域でその人らしい生活ができるために必要な支援が考えられるようになってほしい！そんな願いがあり、多職種連携協同学習の授業を開始します。皆さんは、この授業に参加する第1回生です。（今年初めて実施する授業です）

この授業で、つながりが作れる！



卒業後、訪問看護ステーションを立ち上げた時に、授業での出会いが活かされるかも！

4つの学校の教員が学びをサポートします

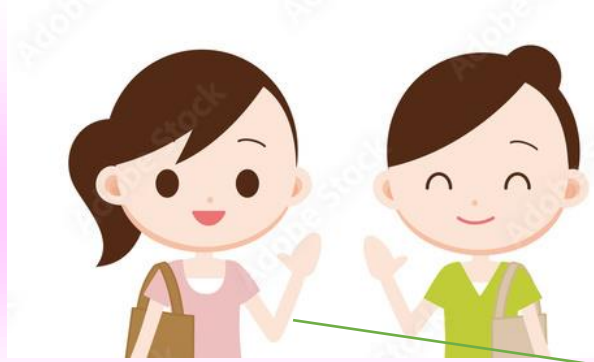
各学校の教員紹介



病院、ツアーナース、にある クリニックで勤務した経験をもつ、がん看護専門看護師です。今回一緒に学ぶ A 学校の B 先生は、以前働いていた病院の同僚です。B 先生と私のように、職場が変わってもつながりを仕事に活かす機会が皆さんにも訪れるはず!この出会いを将来に活かし、地域で活躍する人材になってほしい!

研究分野は、中国残留孤児への医療通訳・介護支援、がん患者との対話を大切にした終末期看護です。

あやしいノリだけで話す中国語を使って、海外旅行を楽しむことが趣味です。



母校で、〇〇〇〇さんの講演があり参加した時の写真です。講演後、サインと写真撮影とハグ付きという、サービス精神が素敵でした!(参加すると素敵な体験になる)

「ガンジス河でバタフライ」、旅がより楽しくなる、お勧めの一冊です。

今回の授業は参加する皆さんで作る授業です

いつもは〇〇専門学校内で、クラスの皆と学んでいますが、今回は4つの学校と合同で実施する授業です。教員からの講義は一部です。(1回目と11回目に一部講義の時間があります)ほぼすべての時間が、グループワーク、発表の共有などの時間です。皆さんが参加しないと始まらない授業が今日から始まります。参加するといいいことがたくさんある!

教員が各グループのフォローをします。いつでも相談してください!

授業の目標

- ① 多職種の役割と責務について、未来の専門職間で共有できる
- ② 多職種学生間でのコミュニケーションが実施できる
- ③ 対象者の目標達成、ケアの質向上に向けて共に考えることができる

📖 学習の評価 ルーブリック評価（全 10 項目、各項目 10 点配分で 100 点満点）

コミュニケーション3項目、発表を実施3項目、リフレクションを記入する3項目、出席状況1項目

◎コミュニケーション

学習活動	評価基準	A:目標達成(10点)	B:もう少し(6点)	C:がんばろう(3点)
グループワーク参加状況	グループワークに積極的に参加する	グループワークに参加し、グループワークでの意見交換が積極的にでき、他者の意見をもとに意見を発展させている。	グループワークに参加するが、グループワークでの発言がやや少ない、他者の発言を聞いて意見を言う姿勢がある。	グループワークに参加することが難しく、グループワークでの発言が少なく、聞き役となっている。
コミュニケーションの工夫状況	グループ内で共通理解ができるコミュニケーションに取り組む	自分たちの職種のみに通じる言葉があることを認識し、多職種間で共有できる言葉を使ったコミュニケーションができる。	自分たちの職種のみに通じる言葉があることを認識し、多職種間で共有できる言葉を使ってコミュニケーションを取ろうとしているが、時々意思疎通が曖昧な場面がある。	多職種間で共有できる言葉を使ってコミュニケーションを取ろうとしているが、意思疎通が曖昧な場面が多くある。
グループ内での役割貢献度	グループ内で自分の役割を作り、取り組む	グループワーク資料にメンバー全ての役割名が、全てのワークで記入されている。	グループワーク資料にメンバー全ての役割名が、7回以上のワークで記入されている。	グループワーク資料にメンバー全ての役割名が、3回以上のワークで記入されている。

◎発表を実施する

学習活動	評価基準	A:目標達成(10点)	B:もう少し(6点)	C:がんばろう(3点)
資料作成	グループの一員として発表資料作成に取り組む	自ら発表資料作成に必要な資料を提示し、資料を有効活用し発表資料を作成することができる。	自ら発表資料作成に必要な資料を提示し(教科書、雑誌など)、グループワークに取り組むことができる。	自ら発表資料作成に必要な資料を提示している。(教科書のみ)
発表準備、発表	他者にわかりやすく発表し、学びを深める	発表時間内に他者にわかりやすく発表できる。 学びを文章で表現し発表に活かすことができる。	発表時間内に発表することができる。	発表態度や発表時間を考慮できず発表している。(遅刻早退も含む)
質疑応答参加状況	質疑応答を実施し学びを深める	質疑応答を実施し、学びの共有、学びを深める実践ができる。	質疑応答を実施し、学びの共有、学びを深める応答がやや不足している。	質疑応答を実施し、学びの共有、学びを深める応答が不足している。

◎リフレクションを記入する

学習活動	評価基準	A:目標達成(10点)	B:もう少し(6点)	C:がんばろう(3点)
単元1リフレクション	単元1のリフレクションで学びを表現できる	単元1での学びをリフレクションし、看護師と多職種の役割と責務について、文献を活用し、かつ自分の言葉で表現することができる。	単元1での学びをリフレクションし、看護師と多職種の役割と責務について、自分の言葉で表現することができる。	単元1での学びをリフレクションし、看護師と多職種の役割と責務について、表現することに不足がある。
単元2リフレクション	単元2のリフレクションで学びを表現できる	単元2での学びをリフレクションし、看護師と多職種のケアの特色について、文献を活用し、かつ自分の言葉で表現することができる。	単元2での学びをリフレクションし、看護師と多職種の役割と責務について、自分の言葉で表現することができる。	単元2での学びをリフレクションし、看護師と多職種の役割と責務について、表現することに不足がある。
単元3リフレクション	単元3のリフレクションで学びを表現できる	単元3での学びをリフレクションし、看護師と多職種の対象者の達成目標、ケアの向上の協働について、文献を活用し、かつ自分の言葉で表現することができる。	単元3での学びをリフレクションし、看護師と多職種の役割と責務について、自分の言葉で表現することができる。	単元3での学びをリフレクションし、看護師と多職種の役割と責務について、表現することに不足がある。

◎出席する

学習活動	評価基準	A:目標達成(10点)	B:もう少し(6点)	C:がんばろう(3点)
出席	出席状況	全て出席している。(遅刻早退がある場合は10点にはならない)	欠席が1回ある。(遅刻、早退を含む)	欠席が2回以上ある。(遅刻、早退を含む)

📺 授業は zoom を使用します

ブレイクアウトルームを使って、各学校の学生1～4名参加(当校は3～4名)で9グループに分かれます。

📧 各学校、学生間の連絡方法はグーグルクラスルームを使用します

多職種連携協同学習のパスコードをメールで送ります。パスコードをクリックして多職種連携協同学習に事前に入ってください。

学習内容と課題 15 回授業

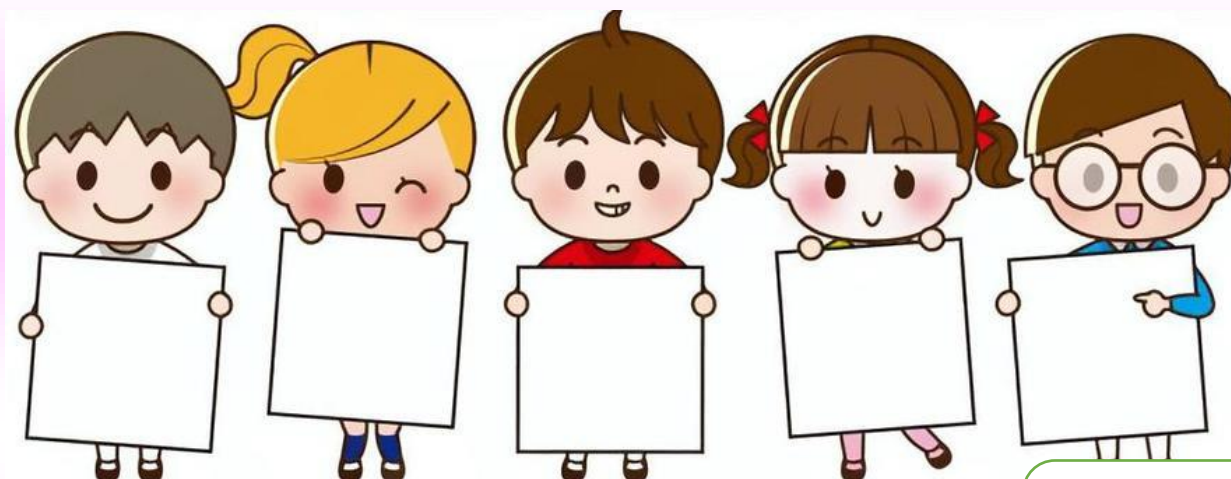
単元1：多職種の役割と責務について学生間で共有できる

1回目（4 校合同で実施）

目標：多職種の役割・責務について知ることができる

【実施内容】

- ・オリエンテーション：科目目標、シラバス説明
- ・看護師・介護福祉士・理学療法士・栄養士の役割と責務について各学校の教員が講義をします。
- ・グループごとに分かれて、アイスブレイクゲームを実施、各自自分の特徴を書き出す→自己紹介をする→メンバーの共通点をあげる→チーム名を決める（チーム〇〇）zoom を使用します。
- ・各職種の共通点、協働できるもの、協働が難しいと感じるものを話し合ってみましょう（授業時間内にまとまらない場合は、各自でまとめておく）



看護研究の授業で使った、文献検索方法を活用してください

2回目（各学校で実施）

目標：自分たちの役割、活躍の場による違いを明確にするための資料が収集できる

【実施内容】

- ・グループワーク：自分たちの職種の役割を病院・施設・地域（在宅）の3つの活躍の場ごとにまとめる資料作成に向けた文献を集める
- ・自分たちの職種の役割を3つの活躍の場ごとにまとめるための文献を整理する（授業時間内にまとまらない場合は、各自でまとめておく）

3回目（各学校で実施）

目標：自分たちの役割を活躍の場による違いを明確にするための資料を作成できる

【実施内容】

- ・グループワーク：自分たちの職種の役割を病院・施設・地域（在宅）の3つの活躍の場ごとにまとめる（パワーポイントを使って資料作成。授業時間内にまとまらない場合は、グループでまとめておく）

4回目（4 校合同で実施）

目標：各職種の役割を活躍の場による違いをチーム内で共有するための効果的な発表ができる

【実施内容】

・協同学習：グループ内で、作成したパワーポイント資料を使って発表を実施する（看護学校、介護福祉士専門学校、栄養士専門学校、理学療法士専門学校のチームメンバー内での発表です）zoom を使用します。

（発表終了後、質疑応答の時間）

課題：発表を聞いて、3 つの活躍の場で各職種の役割で自分がわかったことをまとめる（5 回目の授業で使います）

5回目（4 校合同で実施）

目標：多職種で協同できる、役割と責務を見出すことができる

【実施内容】

・協同学習：グループで、4 回目講義時の発表での気づきを討議する

（気づきの中から、役割と責務で協同できることをまとめる）zoom を使用します。

課題：職種の役割と責務についてリフレクションを実施（リフレクション用紙はグーグルクラスルームから配布します）



単元2：

多職種間でのコミュニケーションが実施できる。

自己の職種のケアの特色を知ることができ、多職種のケアの特色を知ることができる。

6回目（各学校で実施）

目標：事例から情報を収集し、学習に必要な文献を収集できる

【実施内容】

・グループワーク：事例から情報を収集し、対象者のケアを考える情報分析に必要な文献を収集する

・対象者のケアを考えるために必要な文献を整理する（授業時間内にまとまらない場合は、各自でまとめておく）

足を骨折し手術後リハビリを終えた 80 歳代の女性で、自宅（一人暮らし）に戻る事例です。
既往に糖尿病があります。

7回目（各学校で実施）

目標：事例のアセスメントを実施し、計画を立案することができる

【実施内容】

- ・グループワーク：事例のアセスメント、計画を立案する。
- ・事例のアセスメント、計画をまとめ、発表資料作成準備をする（授業時間内にまとまらない場合は、各自でまとめておく）



8回目（各学校で実施）

目標：事例の発表資料を作成し、発表準備を行うことができる

【実施内容】

- ・グループワーク：パワーポイントを使用し発表資料を作成する
- ・事例の発表パワーポイントを作成し、発表準備をする
(パワーポイントを使って資料作成。授業時間内にまとまらない場合は、グループでまとめておく)

9回目（4校合同で実施）

目標：事例の発表をすることができ、多職種のケアの視点を知ることができる

【実施内容】

- ・グループワーク：グループで、作成したパワーポイント資料を使って発表を実施する（看護学校、介護福祉士専門学校、栄養士専門学校、理学療法士専門学校のチームメンバー内での発表です）zoomを使用します。

課題：発表を聞き、各職種の特色が出ているケア、気づきについてまとめる（10回目の講義で使います）

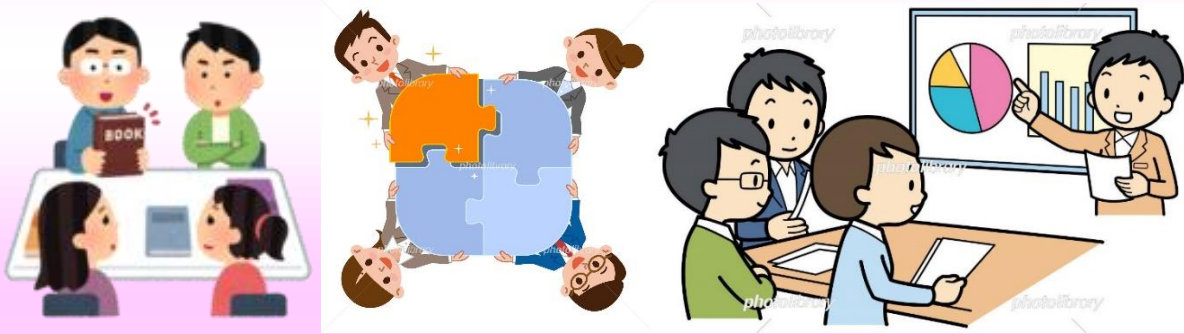
10回目（4校合同で実施）

目標：多職種で協働できるケアを見出すことができる

【実施内容】

- ・グループワーク：グループで、9回目講義の発表での気づき、多職種で協働できるケアについて討議する（気づきの中から、ケアで協働できることを出していく）zoomを使用します。

課題：多職種間のコミュニケーションから得られたこと、協働できるケアについてリフレクションを実施（リフレクション用紙は-googleクラスルームから配布します）



単元3:対象者の目標達成、ケアの質向上に向けて共に考えることができる

11回目(各学校で実施)

目標:地域での多職種チーム連携について知ることができる

【実施内容】

- ・講義:地域における、多職種連携についてチームカンファレンスについて
 - ・グループワーク:チームカンファレンスで対象者のケアの質向上に向けて、自己の職種の役割を出す
 - ・対象者のケアの質向上に向けて、看護師の役割を踏まえたチームカンファレンスの発表資料をまとめることができる
- (授業時間内にまとまらない場合は、各自でまとめておく)

12回目(4校合同で実施)

目標:単元2の事例についてチームカンファレンスを実施することができる

【実施内容】

- ・協同学習:事例についてチームカンファレンスを実施し、対象者のケアの質向上に向けて共に考え、具体的なケア、介入方法を出す
- ・チームカンファレンスで意見がでた、具体的なケア、介入方法についてまとめる(授業時間内にまとまらない場合は、チームでまとめておく)

13回目(4校合同で実施)

目標:対象者のケアの質向上に向けたチームでの介入方法について発表資料を作成することができる

【実施内容】

- ・協同学習:発表資料作成をチームで実施する。パワーポイントの作成、発表原稿の作成
- (授業時間内にまとまらない場合は、チームでまとめておく)

14回目(4校合同で実施)

目標:15回目の講義で実施するまとめ発表の準備をすることができる

【実施内容】

- ・多職種連携・協働の意義と方法まとめ発表内容についてのポイントを説明
 - 多職種連携の意義について(多職種で連携すると、どんないいことがおこる?)
 - 協働する意義について(協力しながら対象者に働きかけることで、対象者にどんないいことがおこる?)

- ・グループワーク：13回目の講義で作成したパワーポイントに、多職種連携・協働の意義と方法を追加する
- ・15回目の講義で実施するまとめ発表の準備をする
(授業時間内にまとまらない場合は、チームでまとめておく)

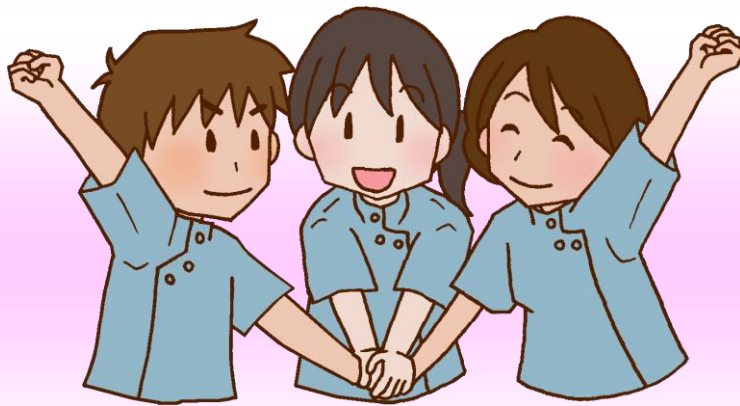
15回目(4校合同で実施)

目標：対象者のケアの質向上に向けたケア、介入方法、多職種連携・協働の意義と方法について発表し、学びを共有できる

【実施内容】

- ・1グループ7分発表(9グループすべてが発表後、質疑応答の時間)最終授業では、全体で学びを共有します。

課題：科目をとおしてリフレクションを実施(リフレクション用紙はグーグルクラスルームから配布します)



お勧めのテキスト

介護福祉士養成講座編集委員会(編集)：最新 介護福祉士養成講座4 介護の基本Ⅱ,p.140-198,中央法規,2019.

河野あゆみ(編集)：新体系看護学全書 地域・在宅看護論,メジカルフレンド社,2021.

質問や相談はこちらまで



担当教員

電話番号：〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

メール：〇〇〇〇@〇〇〇〇

一緒に楽しく学びましょう!そのためには一緒に参加することが大切です。